

千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議 令和6年度 総会・事例報告会次第

期 日：令和6年6月18日（火）

場 所：ペリエホール

1 開 会 13:00

2 総 会 13:00～13:30

(1) あいさつ

(2) 報 告

3 事例報告会 13:30～15:45（休憩 14:30～14:45）

(1) 13:30～14:00

環境 DNA メタバーコーディング法：バケツ一杯の水から棲んでいる魚がわかる技術

千葉県立中央博物館 主任上席研究員 宮 正樹 氏

(2) 14:00～14:30

環境 DNA を利用した生物観測ネットワーク ANEMONE について

(公財) かずさ DNA 研究所

ゲノム事業推進部遺伝子構造解析グループ 研究員 山川 央 氏

(3) 14:45～15:15

地域住民と連携した環境 DNA 技術の活用事例について

神奈川県環境科学センター 調査研究部 主任研究員 長谷部 勇太 氏

(4) 15:15～15:45

実務の現場で環境 DNA を使うために必要なこと

国立研究開発法人土木研究所 特任研究員 村岡 敬子 氏

4 そ の 他 15:45～15:50

5 閉 会 15:50

6 情報交換会 15:50～16:30

配布資料一覧

(総会関係)

- 資料1 令和5年度活動報告、令和6年度活動方針(案)
- 資料2 千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議の概要
- 資料3 千葉県のバイオ・ライフサイエンス分野の振興体制
- 資料4 千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議 会則

(事例報告会関係)

- ※講演1 資料なし
- 講演2
- 講演3
- 講演4

(その他)

- ・アンケート用紙
- ・DNA倶楽部入会の御案内(かずさDNA研究所)
- ・NEWSLETTER(かずさDNA研究所)
- ・かずさインキュベーション施設の御案内(千葉県産業振興課)
- ・「第7回メディカルジャパン東京 千葉県ブース」出展事業者の募集について(千葉県産業振興課)

議題（1）令和5年度活動報告について

1 会員への情報提供及び情報交換

(1) 方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の場を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策やAMED、NEDO等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

(2) 具体的な取組

ア 総会（事例報告会と同時開催）

- 日 時：令和5年6月15日（木）13:00～13:30
- 会 場：ステーションコンファレンス東京602
- 内 容：令和4年度事業報告、令和5年度事業方針（案）について

イ 事例報告会

- 日 時：令和5年6月15日（木）13:30～16:50
- 会 場：ステーションコンファレンス東京602
- 参加者：68名
- テ ー マ：有用藻類の高度利用による物質生産の仕組みづくり
- 内 容：
 - ・藻類による有用物質生産に向けた仕組みづくりと藻類代謝エンジニアリング
（㈱ファイトリピッド・テクノロジーズ代表取締役CEO、（公財）かずさDNA研究所特別客員研究員、東京工業大学名誉教授 太田 啓之 氏）
 - ・ノンターゲット・メタボローム解析による全代謝マップの確立を目指して
（（公財）かずさDNA研究所藻類代謝エンジニアリングチーム長 櫻井 望 氏）
 - ・ゲノム編集技術の社会実装を目指した拠点形成と藻類での基盤技術確立
（プラチナバイオ㈱CTO、広島大学教授 山本 卓 氏）

ウ 企画運営会議

日 時：令和6年3月19日（火）14:00～16:00

開催方法：現地及びWEBライブ配信(Zoom)

会 場：千葉大学西千葉キャンパス IM0棟 1-1階 イベントルーム

内 容：

- ・令和5年度活動報告、令和6年度活動方針（案）について
- ・「G T B千葉・かずさホワイトバイオネットワーク」について
- ・Greater Tokyo Biocommunity (G T B) について
- ・意見交換（G T Bとの連携について）
- ・その他（情報提供など）

エ セミナー

日 時：令和5年9月5日（火）13:30～17:00

開催方法：現地及びWEBライブ配信(Zoom)

会 場：量子技術研究開発機構 量子生命科学研究所

参 加 者：51名

テ ー マ：量子技術に基づく生命現象の解明と医学への展開

内 容：

- ・量子生命科学に関する研修会
- ・量子生命科学研究所視察

オ Greater Tokyo Biocommunity (G T B)

G T Bのバイオイノベーション推進拠点である「千葉・かずさエリア」の窓口機関として、実務者会議及び総会に出席し、情報収集及びエリア内の取組の情報発信を行った。

(ア) 第4回実務者会議

日 時：令和5年6月21日（水）13:20～16:00

会 場：湘南アイパーク講堂（オンライン併用）

(イ) 第5回総会

日 時：令和5年7月31日（月）14:30～16:30

会 場：ステーションコンファレンス東京602（オンライン併用）

(ウ) 第5回実務者会議

日 時：令和6年1月24日（水）13:00～16:30

会 場：川崎キングスカイフロント川崎生命科学・環境研究センター
（オンライン併用）

(エ) 第6回総会

日 時：令和6年3月4日（月）14:30～16:30

会 場：ステーションコンファレンス東京503（オンライン併用）

カ 外部ネットワーク等との連携の強化

その他、バイオ産業支援機関ネットワーク会議（事務局：（公財）木原記念横浜生命科学振興財団）等に参画し、バイオエコノミー社会の実現に向けた基盤戦略である「バイオ戦略」や関係省庁の施策、各支援機関による支援事例等に関する情報収集及び情報交換を行った。

キ その他

（１）会員相互の情報交換の促進

本会議のメーリングリストやホームページを活用して、会員の主催するイベント等の情報発信を行った。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

（１）方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の場を設ける。

（２）具体的な取組

ア セミナーの開催

量子科学技術研究開発機構と連携し、「量子技術に基づく生命現象の解明と医学への展開」をテーマに、量子生命に係る講義と、同機構の量子生命科学研究所の視察を行った。

イ バイオ・ライフサイエンス分野に関する県庁内連絡会議の開催

かずさDNA研究所の本年度設置・研究開始した「藻類代謝エンジニアリングチーム」の取組や、三井不動産の柏の葉のバイオ・ライフサイエンス分野に関する取組、千葉県臨床工学技士会の取組について情報提供をいただき、また、県庁内関係課とかずさDNA研究所の取組について情報交換を行った。

日 時：令和5年9月8日（金）13:30～15:00

開催方法：オンライン（Zoom ミーティング）

内 容：

- ・藻類による ω 3脂肪酸やバイオ燃料の生産に向けた仕組み作りとかずさDNA研究所の役割
- ・柏の葉のバイオ・ライフサイエンス分野に関する取組について
- ・千葉県臨床工学技士会の取組について
- ・各部局における取組について

令和6年度活動方針（案）について

1 会員への情報提供及び情報交換

（1）方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の機会を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策や AMED、NEDO 等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

（2）具体的な取組

ア 総会（事例報告会と同時開催予定）

- 時 期：令和6年6月18日（火）
- 方 法：現地開催（ペリエホール）
- 内 容：令和5年度事業報告、令和6年度事業方針（案）

イ 企画運営会議

- 時 期：令和7年3月
- 方 法：未定

ウ 事例報告会（総会と同時開催予定）

- 時 期：令和6年6月18日（火）
- 方 法：現地開催（ペリエホール）
- テーマ：「環境 DNA 分析技術を利用した生物調査～原理・現状・展望～」

エ セミナー

- 時 期：令和6年度秋頃
- 方 法：現地開催（ハイブリッドも検討中）
- テーマ：がん領域に係るシンポジウム（仮）

オ GTB協議会

（ア）第6回実務者会議

- 時 期：令和6年7月17日（水）
- 会 場：アステラス製薬つくば研究センター

（イ）第7回総会

- 時 期：令和6年9月2日（月）
- 会 場：ステーションコンファレンス東京

（ウ）第7回実務者会議

- 時 期：令和7年1月頃
- 会 場：未定

(エ) 第8回総会

時 期：令和7年3月頃

会 場：未定

カ ネットワーク形成及び情報交換

企業や研究機関等がニーズ発信やマッチング、情報交換等、双方向の交流をできる機会を設け、ネットワーク形成を促進するとともに、外部ネットワーク等との連携を強化する。

また、G T B協議会の取組や情報を活用し、バイオ戦略（統合イノベーション戦略推進会議）が目指す市場領域や本県の特徴等を踏まえ、タイムリーな話題の提供や産学連携・産産連携等による新事業・新産業の創出に資するセミナーや勉強会等を開催する。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

(1) 方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の機会を設ける。

(2) 具体的な取組

- 会員の事業内容等を把握・整理し、必要に応じてマッチングの機会を設ける。
- バイオ戦略が目指す市場領域において、本県の強みを活かせる分野を模索するとともに、有望な分野については、関係者による情報交換の機会を設ける。
- 企画運営会議等で提案のあった内容等について、必要に応じヒアリングを行った上で、関係者による情報交換や勉強会等の機会を設ける。

千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議について

1 趣旨・目的

「千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議」は、健康・医療・環境・食糧等、人々の生活に関係の深い課題の解決に大きな貢献が期待され、産業としての高い将来性が見込まれるバイオ・ライフサイエンス分野の研究開発、産業振興を図るため、全県的な産学官連携組織として平成15年2月に設置された。(当初会員数118)

2 活動内容

- (1) 会員相互の情報提供・情報交換
- (2) 全県的な産学官連携の促進
- (3) 共同研究プロジェクトの創出・展開
- (4) 広域的なネットワーク形成

3 組 織

- (1) 会長・副会長等

特別顧問	千葉大学	学 長	横手幸太郎
会 長	かずさ DNA 研究所	理 事 長	大石 道夫
副 会 長	東京大学	特命教授	三谷 啓志
副 会 長	千葉県商工会議所連合会	会 長	佐久間英利

- (2) 企画運営会議

- (3) 事務局 千葉県、公益財団法人かずさ DNA 研究所

4 会 員 数 149 (令和6年6月現在)

企 業 等 (99)

経済団体等 (9) : 千葉県商工会議所連合会、千葉県経営者協会、千葉県商工会連合会、千葉県経済同友会、千葉県中小企業団体中央会、中小企業基盤整備機構関東本部、発明協会千葉県支部、千葉県経済協議会 等

業 界 団 体 (2) : バイオインダストリー協会、日本バイオベンチャー推進協会

大 学 等 (13) : 千葉大学、東京大学、城西国際大学、千葉工業大学、帝京平成大学、東京歯科大学、東京情報大学、東京電機大学、東京理科大学、東邦大学、日本大学、放送大学、木更津工業高等専門学校

研 究 機 関 (15) : 国立がん研究センター東病院、量子科学技術研究開発機構、製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター、科学技術振興機構、県衛生研究所、県がんセンター、県環境研究センター、県産業支援技術研究所、県農林総合研究センター、県農業大学校、県畜産総合研究センター、県水産総合研究センター、千葉市環境保健研究所、千葉市農政センター、かずさ DNA 研究所

自 治 体 等 (11) : 千葉市、木更津市、柏市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、日本貿易振興機構千葉貿易情報センター、千葉県産業振興センター、千葉市産業振興財団、千葉県 等

5 これまでの活動状況

実施年月	内 容
平成15年2月	設立総会（ホテルスプリングス幕張）
平成15年5月	・平成15年度企画運営会議（ペリエホール）
7月	・平成15年度総会（ホテルスプリングス幕張） ・会員概要書の作成、ホームページの開設「千葉県バイオ・ネット・コム」
平成16年2月	・東京ゲノムベイ・かずさ国際シンポジウム2004（かずさアカデミアパーク）
平成16年6月	・平成16年度企画運営会議（千葉県庁舎） ・平成16年度総会（ホテルポートプラザちば） ・メールマガジンの配信開始
9月	・かずさ国際バイオフィォーラム2004（かずさアカデミアパーク）
平成17年3月	・知財研究セミナー（ホテルスプリングス幕張）
平成17年5月	・平成17年度第1回企画運営会議（千葉県庁舎）
6月	・平成17年度総会（ホテルポートプラザちば）
8月	・見学会（東葛テクノプラザ、東大柏ベンチャープラザ、東大柏キャンパス）
平成18年1月	・セミナー（ホテルポートプラザちば） 国のバイオ・ライフサイエンス施策の動向、競争的研究資金の活用、特許戦略について等
2月	・見学会（千葉大学大学院教授等による産学官連携への取り組み・研究内容・施設の紹介、見学等）
3月	・平成17年度第2回企画運営会議（ホテルプラザ菜の花）
平成18年6月	・平成18年度総会（ホテルポートプラザちば）
12月	・見学会（産業技術総合研究所 臨海副都心センター）
平成19年2月	・セミナー 千葉クラスターにおける最先端がん治療（グリーンタワー幕張） ・企画運営会議（ホテルプラザ菜の花）
平成19年5月	・平成19年度総会（幕張メッセ）
8月	・ビジネスプラン発表会（ベンチャークラブちばとの共催）（野村證券柏）
9月	・セミナー 英国との技術交流（ホテルスプリングス幕張） ・セミナー 微生物代謝を利用した新産業（かずさアカデミアパークホテル）
平成20年3月	・企画運営会議（三井ガーデンホテル千葉）
平成20年6月	・平成20年度総会（京葉銀行文化プラザ）
10月	・セミナー 英国との技術交流（三井ガーデンホテル千葉）
平成21年2月	・セミナー ドイツとの技術交流（ホテルグリーンタワー幕張）
3月	・セミナー ベンチャー企業向け知的財産（同上）
平成21年4月	・企画運営会議（三井ガーデンホテル千葉）
7月	・平成21年度総会（京葉銀行文化プラザ）
10月	・セミナー 英国との技術交流（ホテルポートプラザ千葉）

平成22年2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナー ドイツとの技術交流（ホテルグリーンタワー幕張） ・企画運営会議（三井ガーデンホテル千葉）
平成22年6月 7月 8月 9月 平成23年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度総会（ホテルグリーンタワー幕張） ・バイオエキスポへの合同出展（千葉・神奈川バイオ産業広域連携事業） ・第1回千葉・神奈川バイオ産業広域連携事業「会員交流商談会」 ・バイオジャパンへの合同出展（千葉・神奈川バイオ産業広域連携事業） ・企画運営会議（震災影響のためメール・書面開催）
平成23年5月 10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオリソースとバイオバンクに関する研究部会発足（県庁内会議室） ・平成23年度総会、成果・事例報告会（ホテルポートプラザちば） ・バイオ関連人材育成・交流セミナー（ホテルプラザ菜の花） ・バイオビジネスパートナーリング（千葉・神奈川広域連携事業、木原財団） ・トランスレーショナルリサーチとバイオバンク（バイオバンク研究部会）
平成24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画運営会議（三井ガーデンホテル千葉）
平成24年4月 5月 9月 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・かずさDNA研究所が共同事務局として参画 ・ホームページ開設（かずさDNA研究所HP内） ・平成24年度総会、研究成果・事例報告会（ホテルポートプラザちば） ・シーズ発表会「微生物の産業利用」（かずさアカデミアホール） ・シンポジウム（バイオバンク研究部会）（千葉大薬学部120周年記念講堂）
平成25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・シーズ発表会「新たな高付加価値食品の創造」（アパホテル&リゾート）
平成25年7月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度総会、研究成果・事例報告会（ホテルポートプラザちば） ・企画運営会議（京葉銀行文化プラザ）
平成26年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・シーズ発表会「全ゲノム解読で変わるイチゴ・カーネーションの新品種開発」（ホテルグリーンタワー幕張）
平成26年7月 平成27年1月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度総会、研究成果・事例報告会（ホテルグリーンタワー幕張） ・シーズ発表会「これからのバイオ産業について」 (ホテルグリーンタワー幕張) ・企画運営会議（京葉銀行文化プラザ）
平成27年7月 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度総会、事例報告会（ホテルグリーンタワー幕張） ・JASISコンファレンス「千葉県内で活動している健康・医療を中心としたバイオ・ライフサイエンス分野の紹介について」（幕張メッセ）
平成28年1月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・シーズ発表会「バイオテクノロジーの動向 - 食品、バイオマスから育種まで -」（ホテルグリーンタワー幕張） ・企画運営会議（京葉銀行文化プラザ）
平成28年5月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度総会、研究成果・事例報告会（ホテルグリーンタワー幕張） ・シーズ発表会「千葉県におけるゲノム医療実現に向けて」 (ホテルグリーンタワー幕張)
平成29年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・企画運営会議（京葉銀行文化プラザ）

平成29年5月	・平成29年度総会、研究成果・事例報告会（ホテルポートプラザちば）
11月	・CBLNセミナー「ゲノム医療の実現に向けて」（京葉銀行文化プラザ）
12月	・シーズ発表会「バイオ産業の活性化に向けた公的データベースの活用法」（ペリエホール）
平成30年3月	・企画運営会議（京葉銀行文化プラザ）
平成30年6月	・平成30年度総会、事例報告会（ホテルグリーンタワー幕張）
8月	・セミナー「食品の高付加価値化～千葉の農産物・産品を活用した製品開発～」（ホテルグリーンタワー幕張）
11月	・セミナー「スマートセルによる新たなものづくりの可能性～脱化石燃料社会の実現に向けて～」（ペリエホール）
平成31年1月	・セミナー「次世代型ヘルスケアビジネス交流会～千葉発！最先端ベンチャー・ビジネスの可能性～」（ホテルポートプラザちば）
3月	・企画運営会議（ペリエホール）
令和元年6月	・令和元年度総会、事例報告会（ホテルグリーンタワー幕張）
8月	・セミナー「かずさDNA研究所視察・知財セミナー@かずさ」（かずさDNA研究所、オークラアカデミアパークホテル）
11月	・セミナー「バイオプロセスが変えるものづくり～持続可能な循環型社会を目指して～」（ペリエホール）
令和2年2月	・セミナー「バイオ戦略2019と令和2年度経済産業省関連予算案のポイント～世界最先端のバイオエコノミー社会の実現を目指す戦略を読み解く～」（ペリエホール）
3月	・企画運営会議（書面開催）
令和2年8月	・令和2年度総会（書面開催）
令和3年1月	・交流会「オープンイノベーション交流会 in CHIBA～最先端バイオ技術の活用～」（オンライン）
3月	・企画運営会議（書面開催）
令和3年6月	・企画運営会議（オンライン開催）
	・令和3年度総会、事例報告会（オンライン開催）
令和4年3月	・企画運営会議（オンライン開催）
令和4年6月	・令和4年度総会、事例報告会（オンライン開催）
令和5年3月	・企画運営会議（三井ガーデンホテル千葉及びオンライン開催）
令和5年6月	・令和5年度総会、事例報告会（ステーションコンファレンス東京）
9月	・セミナー「量子生命科学セミナー～量子技術に基づく生命現象の解明と医学への展開～」（量子生命科学研究所 ※オンライン併用）
令和6年3月	・企画運営会議（三井ガーデンホテル千葉・オンライン開催）

千葉県のバイオ・ライフサイエンス分野の振興体制

バイオ・ライフサイエンス分野に関する庁内連絡会議

■目的

各部局が連携してバイオ・ライフサイエンス分野における研究成果の活用をはじめ各種施策の展開を図り、県民生活の質の向上と県内産業振興を図る。

■検討事項

バイオ・ライフサイエンス分野に関する情報共有の推進、共同プロジェクトの創出、実用化・事業化支援

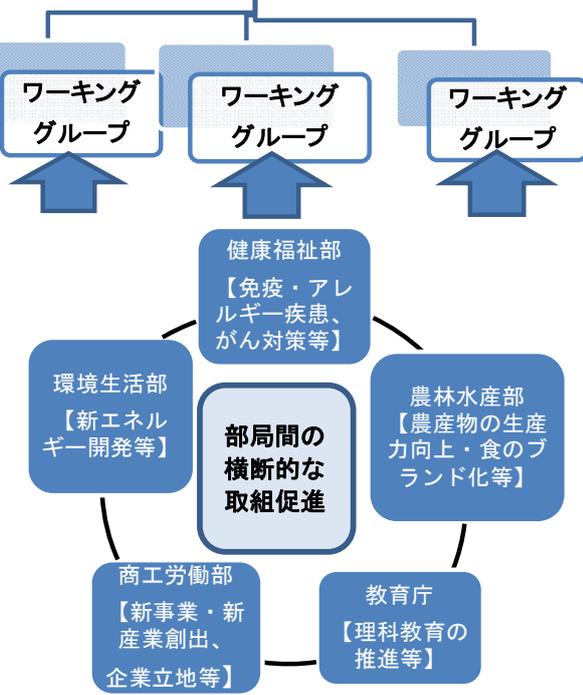
■議長、構成課

- ・議長 商工労働部産業振興課長
- ・構成課 総合企画部・健康福祉部・環境生活部・商工労働部・農林水産部・病院局・教育庁の主務課

■事務局

産業振興課

バイオ・ライフサイエンス分野に関する庁内連絡会議



バイオ・ライフサイエンスネットワーク会議 (バイオ・ライフサイエンス分野の全県的な産学官連携組織)

■目的

バイオ・ライフサイエンス分野の新たな産業や事業の創出による千葉県経済の発展

■活動内容

バイオ・ライフサイエンス分野の情報提供、情報交換・産学官連携促進、産学官共同プロジェクト創出・展開

■会長

かずさDNA研究所 理事長

■会員

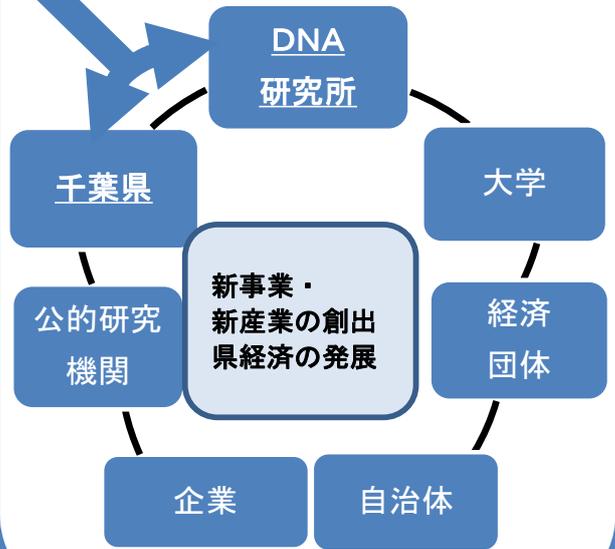
約140の企業・大学・研究機関等

■事務局

かずさDNA研究所
産業振興課

総会

企画運営会議



「千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議」会則

(目的)

第1条 21世紀において飛躍的な成長が見込まれるバイオ・ライフサイエンス関連分野における新たな産業や事業の創出等を通じて、千葉県経済の一層の発展を図るため、大学、研究機関、企業、経済団体、行政機関等の連携による「千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議（以下、「ネットワーク会議」という。）を設置する。

(活動内容)

第2条 ネットワーク会議は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) バイオ・ライフサイエンス関連産業に係る情報提供・情報交換
- (2) バイオ・ライフサイエンス関係の産学官の連携の促進
- (3) バイオ・ライフサイエンス関係プロジェクトの創出・共同展開
- (4) 東京圏ゲノム科学国際拠点形成における各拠点との連携
- (5) その他ネットワーク会議の目的に沿う各種活動

(会員)

第3条 会員は、ネットワーク会議の目的に賛同する大学、研究機関、企業、経済団体、行政機関等で構成する。

- 2 ネットワーク会議の会員の入退会は、第9条に定める事務局に届け出て行うものとする。

(会長及び副会長)

第4条 ネットワーク会議に、会長1名、副会長2名を置く。

- 2 会長は、公益財団法人かずさDNA研究所の役職員のうち、千葉県知事が指名する者をもって充てる。
- 3 副会長は、会長が指名する者とする。
- 4 会長は、ネットワーク会議を代表し会務を総括する。
- 5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、副会長が代行する。

(特別顧問)

第5条 ネットワーク会議に、特別顧問を置く。

- 2 特別顧問は、千葉大学学長及び会長が指名する者をもって充てる。
- 3 特別顧問は、ネットワーク会議の運営に資する助言等を行うものとする。

(総会)

第6条 総会においては、次の事項について協議するものとする。

- (1) ネットワーク会議の活動方針及び活動報告
- (2) その他ネットワーク会議に係る重要事項に関すること

(企画運営会議)

第7条 ネットワーク会議に、会議の企画及び運営を行う組織として、企画運営会議を設置する。

- 2 企画運営会議は、大学、研究機関、企業、経済団体、行政機関等の委員から構成し、その委員は会長が指名するものとする。
- 3 企画運営会議に座長1名を置く。
- 4 座長は、企画運営会議の委員の互選による。
- 5 座長は、企画運営会議の会務を総括する。
- 6 座長は必要と認める者を、企画運営会議に出席させることができる。

(研究部会)

第8条 ネットワーク会議は、必要に応じて、共同研究・共同開発等のための研究部会を置くことができる。

- 2 研究部会の運営に関する規定は、企画運営会議の了承を得て別に定める。

(事務局)

第9条 ネットワーク会議の事務局を千葉県商工労働部産業振興課及び公益財団法人かずさDNA研究所に置く。

(会費)

第10条 ネットワーク会議の会費は無料とする。

(会則の変更)

第11条 この会則を変更しようとする場合は、あらかじめ企画運営会議委員の意見を聴くものとする。

(その他)

第12条 この会則に定めるものの他、ネットワーク会議の運営に必要な事項は、会長が定めるものとする。

附 則

本会則は、平成15年2月6日から実施している千葉県バイオ・ライフサイエンス・ネットワーク会議規約をもとに平成24年4月1日から実施する。